

平成22年度 第5回がまごおり協働まちづくり会議 会議録

日 時 平成22年11月 8日(月)

10時00分～

場 所 蒲郡市役所 新館5階 庁議室

参加者：和泉会長、金子副会長、山本喜是委員、山本久代委員、水野委員、藤田委員、小林委員、尾崎委員

(事務局) 竹内、酒井、小山、石川、森、山崎

(オブザーバー) 榎本

1 開会

来年から藤田委員の交代で榎本委員、まちづくりセンターの山崎委員の挨拶。

2 議題

(事務局)

資料の確認。

(委員)

新しくNPO法人を設立している。子どもの教育をシニアの力を借りてがんばっていきたい。

(事務局)

1) 助成金について

<はじめの一步部門 前期募集>

今までの会議で内容はほぼ確定してきた。あと審査員や面接審査の日程などを確認していきたい。

(会長)

審査委員会の委員を決め、日程を決める。前期後期で委員を代えるか、年度で代えるか。

(事務局)

年度がいいのではないかな。

(副会長)

昨年度は4名で2名は行政、2名は一般の方。

(事務局)

昨年度は和泉会長、西川委員、小林部長、市川課長。

(委員)

昨年と同じでいいのではないかな。

(会長)

昨年と同じにする。では、日程は3/13(日)とする。

<はじめの一步部門 後期募集>

(事務局)

変更した点は

応募条件(2)応募対象外 同年度の前期募集で助成を受けた団体。

(会長)

前期募集と後期募集は同時に出すのか時間差で出すのか？

(事務局)

前回の会議で前期募集の様子を見て助成金額も決める事になったので、前期募集の様子を見て後期募集をかけた方がいいのではないかと。

(会長)

別々に発表する。面接審査の日程は後日決定。

< ほとばしる情熱支援部門 >

(事務局)

～資料説明～

(会長)

2月27日(日)予定になっているが、確定とする。 時間は場所が未定なので場所が決まり次第時間も決定する。

< ほとばしる情熱支援部門 > の審査員は事務局に一任する。

2) NPOと行政のマッチング

(事務局)

～行政とNPOとのマッチングの資料説明～

(副会長)

初めての企画。2回目3回目と続いて行って欲しい。ぜひ、今後はJCにも参加していただきたい。

(委員)

見学は可能か？

(会長)

ぜひ、見学したい。

公開か、非公開かはセンターに一任する。なるべく公開の方向でお願いしたい。

3: 概要 ア)自己紹介は イ)NPO法人の活動PRとウ)総合計画ワーキングチームPRの中に組み込んだ方がいい。

3) 協働フォーラム

(事務局)

～平成22年度 協働フォーラム資料説明～

1月23日(日)13時～17時。講師はGW三島 事務局長 渡辺豊博氏。

今回は講演を聞いてから各団体の紹介を行うのではなく、最初から渡辺氏と対話形式で行う予定。

(会長)

今回は環境や緑をテーマに行うが、別のテーマはまた違う時に行う。協働フォーラムは今後も必要な機会に開催していく。

4) 食育プロジェクトについて

(委員)

10月22日に第2回食育プロジェクトが開催された。議題は第1回目から時間が経過しているので報告や今後のスケジュールについて話し合った。10月20日に試作会(7品)を行った。10月27日に中部保育園と大塚保育園で園長とサポーターで事前講習会を行った。クックラボがおやつ商品開発を行っていて、市内の業者にあたっているがNPO法人だけだと業者に協働を理解してもらうのが難しい。できれば行政の力を借りたい。おやつ情報提供事業では過去1年間のおよつのデータを集計する事ができた。

この食育プロジェクトの認識が低い。

(会長)

JCに参加してもらうことも考慮するといいい。企画広報課が間に入って総合計画のワーキングとも連携していったらいいのでは。

(事務局)

～記者発表資料について説明～

(会長)

資料について

5行目 モデルとなる事業を実施いたします。 実施しております。

8行目 およつの改善を目指し、活動を実施します。 実施しております。

9行目 おやつサポート事業を実施します おやつサポート事業を具体的に書く(新規開発したおやつを園児に食べていただき評価をもらう)

関連機関：がまごおり協働まちづくり会議委員はいらない。

児童課、健康推進課、企画広報課の前に蒲都市を入れる。

(委員)

7行目 およつの改善 およつの環境をよりよくしの方がいいのではないか。

(会長)

園児の評価だけだと判断が難しいのでは？

(委員)

アンケートの予定では保育士、園長にもお願いする。

(事務局)

調理時間と園児が食べている時間が必要ではないか。

(委員)

調理は12時30分から食べる時間は14時30分から15時。

3 その他

(事務局)

紙芝居の会の取材報告。西部小で11月11日に発表を行うための練習を見学した。6年生が1～5年生に紙芝居を発表する。6年生のオカリナに合わせて5年生も合唱を行う。

尺地川虫の会は、虫をつかめて卵を産ませ放流するまでの流れを講師を招いて勉強会を行った。

(事務局)

がまっち（がまごおり市民まちづくりセンター情報誌）紹介。

（委員）

何部くらい発行して、どこに配布されているか？

（事務局）

800部。公共機関に配布。民間では形原のヤマナカ、アピタ蒲郡。

（委員）

公民館には配布していない？

（事務局）

児童館には配布しているが、公民館には配布していない。

（委員）

公民館にも配布するといい。

（会長）

多くの人の目のとまる場所に配布する。

次回開催 1月11日(火) 15時～